



背景画像:「源氏物語」(部分、当館蔵)「源氏物語図屏風」(個人蔵・当館寄託)



歌を詠む武士

会期:令和4年 **7月15日(金) ⇒ 9月11日(日)**

下関市立歴史博物館
SHIMONOSEKI CITY MUSEUM OF HISTORY

所在地	〒752-0979 下関市長府川端二丁目2番27号	休館日	毎週月曜日 (7月18日は開館し、19日に休館)	開館時間	9時30分から17時00分まで (最終入館は16時30分まで)
連絡先	☎ 083-241-1080 FAX 083-245-3310				
観覧料	一般 500円(400円) 大学生等 300円(240円) ※()内は20名以上の団体料金	※65歳以上で下関市内に居住する方は250円 ※18歳以下の方、障害者手帳をお持ちの方、高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は無料。	駐車料金	最初の2時間まで1時間毎に100円 最初の2時間を超えると30分又はその端数毎に100円	
※新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクの着用・検温等にご協力をお願いいたします。また、臨時休館・イベントの中止等の可能性がございます。 ※会期中、一部資料の展示替えを行います。			駐車台数	一般26台、身障者用2台	

「西国に華開いた大名文化-大内氏と和歌・連歌」

日時:7月17日(日)・20日(水)・21日(木)・24日(日) ●時間10:30~11:30

「毛利元就の苦悩-毛利氏と和歌・連歌」

日時:7月31日(日)、8月7日(日)・10日(水)・11日(木・祝) ●時間10:30~11:30

場 所：下関市立歴史博物館ガイダンス交流室

定 員：25名(要予約・先着順、連絡先083-241-1080)

資料代：300円

※7月1日(金)9時30分より電話又は博物館受付にて受付開始

中世の武家社会では、和歌は必須の教養であった。勇ましく戦場を駆け抜けた武士たちは、一族や家臣との結束をはかるため、あるいは都から訪れた文化人をもてなすため、さらには神仏との交流をはかるためにも、和歌を詠んでいたのである。

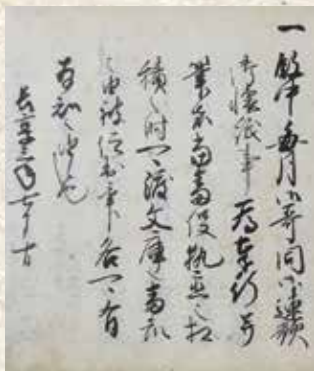
また、和歌から生じ、中世に発達した連歌は、参加者の一体感を高めるものとして、階層を超えて流行した。下関を統治した大内氏や毛利氏では、大名をはじめ家臣団も連歌に熱中したと伝わっている。

本展示は、下関ゆかりの武士たちが詠んだ和歌・連歌に関する資料を展示することで、中世を生きた武士と歌との関係に迫るものである。武士はどのような機会に歌を詠み、どのような想いを歌に込めたのか、和歌・連歌に関するエピソードと合わせて紹介する。

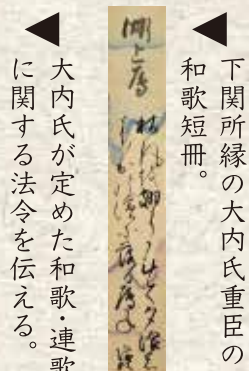
▼ 和歌を詠む上で必須の知識？ 日本を代表する古典文学を題材にした屏風絵



「源氏物語図屏風」(個人蔵・当館寄託)

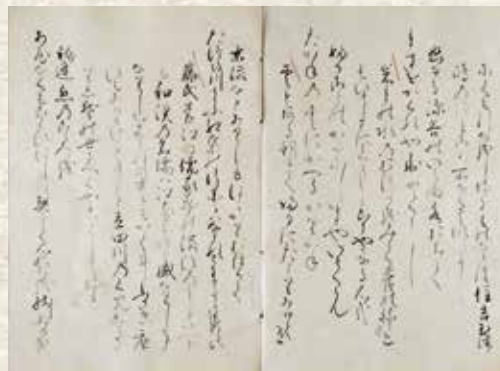


「大内氏掟書」(部分、当館蔵)



下関所縁の大内氏重臣の和歌短冊。

下関初公開！
陶隆秋和歌短冊
(山口市歴史民俗資料館蔵)



「照高院道澄筆 毛利元就詠草写」(日頼寺蔵・当館寄託)

戦国大名毛利元就の没後に編まれた歌集。

担当学芸員のオススメ！

●下関所縁の武将と和歌・連歌に関する様々なエピソードを紹介！

●下関初公開の和歌・連歌関係資料を多数展示！

下関市立歴史博物館 学芸員 岡松 仁

ご案内図



下関市立歴史博物館

交通のご案内

●公共交通機関

JR下関駅	長府・小月・宇部・秋芳・長門・西市方面行きバス	所要時間約25分
JR新下関駅	バス停「城下町長府」を経由する「マリンランド」または「下関駅」行きバス	所要時間約20分
JR長府駅	バス停「長府駅前」から下関方面行きバス	所要時間約10分
●自動車	壇の浦方面へ進み、国道9号線経由	所要時間約20分
JR下関駅	長府方面へ進み、国道2号線経由	所要時間約15分

バス停「城下町長府」

徒歩10分

下関市立歴史博物館